PART2　助動詞以外で表す受身形

② 助動詞を使わないもの

(1) **為**二N**所**一レV

〈読〉＝**NノVスルところトなル**

〈訳〉＝**Nに Vされる**

(例)

為唐廷(とうてい)ノ文士(ぶんし)**所**推奨。

〔唐廷の文士　　推奨　　　　　〕

（唐廷の文士　　推奨　　　）

且(まさ)ニレ**為**二沛公**所**一レ虜(とりこ)トスル。

〔　　　　　　　　　　　　　〕

（　　　　　　　　　　　　　）

注　虜…捕虜。

(2)

V ニ 於/于/乎 N ニ(ル・ラル)　※N＝Vの動作主

〈読〉＝NニV（ル／ラル）

〈訳〉＝NにVされる

(例) 先(さきんジテ)発(スレバ)制(シ)レ人(ヲ)、後(レテ)発(スレバ)制(セラル)ニ於人(ニ)一。
〔先んじて発すれば人を制し、後れて発すれば〕
〔先に行えば人を支配することができるが、遅れて行えば〕

③ 本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「ル・ラル」がついているときは注意。

問七　「為人所制。」を書き下し文にして、現代語訳せよ。

〈書き下し文〉

〈現代語訳〉

問八　次の傍線部「於」の用法の中で、一つだけ働きが異なるものを選べ。

ア　治二於人一。

イ　孔子用二於楚一、…

ウ　霜葉紅二於二月花一。

エ　獲二於上一有レ道。

〈Memo〉

第10講　PART2　確認問題

①「為人所資。」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　人の為に所として資する。
イ　人に資する所と為る。
ウ　人の為に所の資するなり。
エ　人の資する所と為る。

②「為楚相所辱。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　楚(そ)の宰相に侮辱された。
イ　楚の宰相のために侮辱に耐えた。
ウ　楚の宰相が侮辱されることになった。
エ　楚の宰相が侮辱を受けた場所である。

③「不㆑信㆓乎朋友㆒、…」の「乎」と同じ働きを持つ漢字として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　如　　イ　而　　ウ　于　　エ　矣

④「労力者治於人。」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　力を労する者を治めて人となす。
イ　力を労する者は人に治めらる。
ウ　力を労する者に於いて人を治める。
エ　力を労する者が人を治す。

⑤「内惑於鄭袖、外欺於張儀。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　内では鄭袖（ていしう）に惑わされ、外では張儀（ちやうぎ）に欺かれた。
イ　内の人は鄭袖を惑わし、外の人は張儀を欺いた。
ウ　内を惑わすのは鄭袖であり、外を欺くのは張儀であった。
エ　内の人は鄭袖に戸惑い、外の人は張儀に欺かれまいとした。

第10講　PART2　解答

二　②
(1)〔唐廷の文士**の推奨する所と為る**。〕（唐廷の文士**に推奨される**。）
〔且に沛公の虜とする所と為らんとす。〕（そのうち沛公に捕虜にされてしまうだろう。）
(2)〔先んじて発すれば人を制し、後れて発すれば**人に制せらる**。〕
（先に行えば人を支配することができるが、遅れて行えば**人に支配される**。）

問七　**〈書き下し文〉**　人の制する所と為る。
〈現代語訳〉　人に支配される。

問八　ウ

第10講 PART2 確認問題 解答

〔解説〕

① 「為ニN所レV」は「NのVする所と為る」と読み、「NにVされる」という受身の句法。「為人所資。」の読みは、「人の資する所と為る。」となる。よって、エが正解。

② ①と同じく「為ニN所レV」という形の受身の句法が使われている。読みは「楚（そ）の相の辱（はづかし）むる所と為る。」となり、「楚の宰相に侮辱される」という意味になる。よって、アが正解。

③ 「乎」「於」「于」は「Vニ乎（於・于）N一」という形で受身を表す。よって、ウが正解。

④ 「治於人」は受身形で、返り点をつけると「治ニ於人一」となり、「人に治めらる」と読む。よって、イが正解。

⑤ 「於」に注意する。「惑於鄭袖」は「鄭袖に惑わされる」、「欺於張儀」は「張儀に欺かれる」という意味。よって、アが正解。

〔解答〕

① エ　② ア　③ ウ　④ イ　⑤ ア